

## <今日の聖書から>

【大石浅子姉】浅子姉妹は、私たちの教会の会員でした。聖餐をともにやり、御言葉に親しみ、聖書の学びも長くされてきました。そしていま、イエス様の御許に引き上げられました。神の愛の内に過ごされるのです。

【愛】今朝は予定を変更して『雅歌』を開きます。聖書に記録されている神の言葉であり、人の言葉にまでなっていく神様の言葉です。私たちは、まず“よし、この世で十分に生きなさい”という神様の言葉で、この世に生を受けます。この生きている者たちが信仰を持つのです。愛を持つのも、この世で、苦しいことを知り、辛いことを沢山経験もし、怒ったりするのも私たちです。神への愛が私たちに救いを指し示して下さいます。

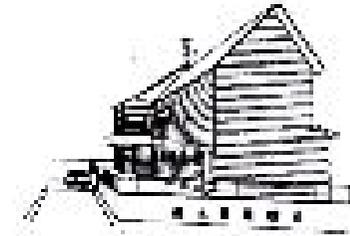
【愛の権利と力】このように考えますと、愛という不思議なものは、最初一番素朴な“お願い”から始まるにしろ、私たちを守る力であり、私たちが持っているように思ってしまうことが多いにしても、“私たちの内に与えられ、成長していく”ものでしょう。私たちは、愛について沢山考えます。それは自分でコントロールできるように見えて、実は“それによって、コントロールされている”のがその愛の持ち主なのです。この“愛”自体が私たちを超えて“権利を主張する”事が沢山あります。“いつも”と云ってもいいかもしれません。“正しく幸福になりたい”と思わせるのです。

【愛の人生】“愛の人生”などと言いますと、素晴らしい生き方をしたかのように、あるいは素晴らしい、この世の成果に導いた“生涯”を指しているようですが、実は違います。どんな人も、今までの数年とか数十年を思い返した時、“愛”に導かれて生きてきたことに気づくでしょう。目論見とか、計画とか、駆け引きに明け暮れたかのように思ってしまうかもしれませんが、その背景には、私たちを、私たちの内において、抑えがたいほどに強く、力と行動力を与えた、愛があります。この愛が抑圧される時、愛自身が持っている戦いを始めます。全ての恋愛小説が“疎外された愛自身の闘い”をテーマにしているといつて構わないことを見ればはっきりしています。“神がまず愛した(ヨハネ4:19)”とあります。

【神の愛】私たちは、聖霊によって“神様の愛”を知ります。神様の賜物である愛の素晴らしさを教えてくれるのが、“雅歌”です。愛ある生活の素晴らしさを、またその反対の不幸を教えてくれるのが、この書でしょう。“エルサレムの娘たちよ、かもしかと野の雌じかをさして、あなたがたに誓い、お願いする、愛のおのずから起るときまでは、ことさらに呼び起すことも、さますこともしないように(2:7)”とあります。“大切にしなさい”と教えているのです。思いが神様から出たものかを問い続けましょう。

# 週報

2010年 7月 25日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042